

# 岩田西遺跡から出土した銅錘と銅鈴

調査課 近藤正枝

考古学コラム「きずな」No. 3

平成 25 年 7 月 1 日

岐阜県文化財保護センター

## 銅錘と銅鈴の出土

岐阜県岐阜市の岩田地内では、国道 156 号岐阜東バイパスの建設が進められています。この事業に伴って発掘調査を行った岩田西遺跡（以下、「当遺跡」とする）からは、発掘調査時に銅錘と銅鈴が鎌倉時代から江戸時代まで続いた水田跡から出土しました。今回は、この銅錘と銅鈴に注目したいと思います。

## 銅錘とは

各地の遺跡から出土する銅製の錘（おもり）には、飛鳥時代から江戸時代のものがあります。これらの銅錘は重さを計るために使われたと考えられています。

重さを計るには棹（さお）の片方に計りたいものを載せ、他方にその重さに見合う錘を載せ、その釣り合ったところで計る方法と、棹に目盛りを付けておき、吊した錘を左右に動かして釣り合ったところの目盛りで重さを計る方法があります。前者には分銅を使い、後者には定量でない錘を使います。

当遺跡から出土した銅製の錘の形は本体が球形で、その上辺には横方向の数段の稜があり、その下辺には縦方向の 8 本の稜があり、本体の上には釣り下げするための孔のあいた突出部を持ちます。高さは 2.5cm、幅は 2.4cm、重さは 50.5g あります。この形状から吊す方の錘と考えられます。

当遺跡から出土した銅錘はその形状が室町時代から江戸時代初頭の時期のものと同様であることからその時期のものと考えられます。中世末の球形の錘の中でも本体の縦の襞（ひだ）が少ないタイプのものです。本体の縦の襞が 10 本以上あるものの出土例が多いようです。

当遺跡から出土した銅錘と形が似ているものは、福井県一乗谷朝倉氏遺跡と東京都八王子城跡から出土しています。

岐阜県内から出土している銅錘は、長良川右岸にある美濃市古村遺跡の中世居館溝跡そばからの例が知られ、縦襞の多いタイプが出土しています。

銅錘が出土した遺跡は、古代では国衙（こくが）や郡衙（ぐんが）と考えられる官衙（かंगा）に関係したもので、令制のなかで国衙や郡衙に基準の金属製の原器を配付した事になっているので、そのような性格を持っていた可能性があります。中世では一乗谷朝倉氏遺跡の他にも滋賀県京極氏遺跡、滋賀県小谷城遺跡、愛知県清洲城下町遺跡、石川県七尾城跡などの中世城館跡から出土しています。

これらのことから銅錘は、度量衡（どりょうこう）を管理するような権力者に関連する遺物であるということが出来るかもしれません。

## 金属製の鈴

金属製の鈴の出土例はあまり多くないようですが、石川県寺家遺跡（銅製）、千葉県荒久遺跡 B 地点（銅製）、熊本県二本木遺跡（銅製）などの古代の役所跡・寺院関連施設からや、福井県一乗谷朝倉氏遺跡（金属製）や岐阜市千畳敷遺跡（鉄製）などの中世城館跡から出土しています。



銅錘（高さ 2.5cm、幅 2.4cm、重量 50.5g）

銅鈴（高さ 3.1cm、幅 2.3cm、重量 6.9g）

## 錘と鈴

当遺跡のように銅錘と金属製の鈴の両方が近くから出土している例が一乗谷朝倉氏遺跡で 2 例あります。これら 2 例とも武家屋敷跡からの出土のようです。もしかすると錘と鈴とはセットで使用していたのかもしれませんが。当遺跡出土のものは水田跡からの出土のため、祭祀（さいし）を行ったのかもしれませんが。

## なぜ水田跡から出土したのか

当遺跡の銅錘と銅鈴は、鎌倉時代から江戸時代まで続いた水田跡から出土しています。当遺跡は南北方向に長く調査しており、鎌倉時代から江戸時代の遺構は水田跡のみでした。当遺跡からは銅錘と銅鈴以外にも水田跡からはあまり出土しないものが多く出土しています。例えば、双魚文（そうぎょもん）のある青磁（せいじ）鉢、赤一色の漆器（しっき）、擬漢式鏡（ぎかんしききょう）、切羽（せっぱ）、筭（こうがい）、小柄（こづか）、目貫（めぬき）、鞆尻金具（さやじりかなぐ）などの刀装具（とうそうぐ）、茶の湯釜蓋（かまぶた）の摘み（つまみ）などです。

なぜ水田跡から城館跡で出土するような遺物が出土するのか、当遺跡の最大のミステリーでした。明治 21 年作成の字絵図（あざえず）から推定した方格地割り（ほうかくじわり）らしきまとまりが、当遺跡調査区西に見えること、その方格地割りの近くに「夷屋敷（えびすやしき）」という小字名がみられること、上記の遺物がその近くから出土することから、当遺跡調査区西には、「夷屋敷」という字名に残る中世城館跡があったことをうかがわせる調査結果となりました。

## 参考文献

- 宮本佐知子 1994 「国内出土の権衡資料」『大阪市文化財論集』財団法人大阪市文化財協会
- 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 2010 『特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡発掘調査報告 X』第 51・52 次調査
- 美濃市教育委員会 2005 『古村遺跡』美濃市文化財調査報告第 25 号
- 米原市教育委員会 2012 『京極氏遺跡調査報告書』米原市埋蔵文化財調査報告書第 4 集
- 石川県立埋蔵文化財センター 1986, 1988 『寺家遺跡発掘調査 I・II』
- 市原市教育委員会 2011 『市原市荒久遺跡 B・C 地点』
- 熊本県教育委員会 2009 『二本木遺跡群 III』
- 熊本市教育委員会 2007 『二本木遺跡群 II・III』